

## 〈対策のポイント〉

熱帯林の適切な保全と開発を図るために設置された国際機関である国際熱帯木材機関（ITTO）の活動を支援します。

## 〈政策目標〉

気候変動問題等地球規模の課題への適切な対応を目指します。

### < 事業の内容 >

### < 事業イメージ >

本部事務局設置経費の拠出を通じてITTOの活動を支援

## 1. 背景・課題

- 国際熱帯木材機関（ITTO）は、1986年、熱帯林の適切かつ効果的な保全及び開発を図るために、生産国及び消費国の国際的な協力を進めることを目的として設立された、横浜市に本部を置く国際機関です。
- 温暖化対策など地球規模での熱帯林の保全の必要性が国際的にも指摘されている中で、持続可能な熱帯林経営の達成のための取組を通じてITTOが果たす役割は極めて重要です。

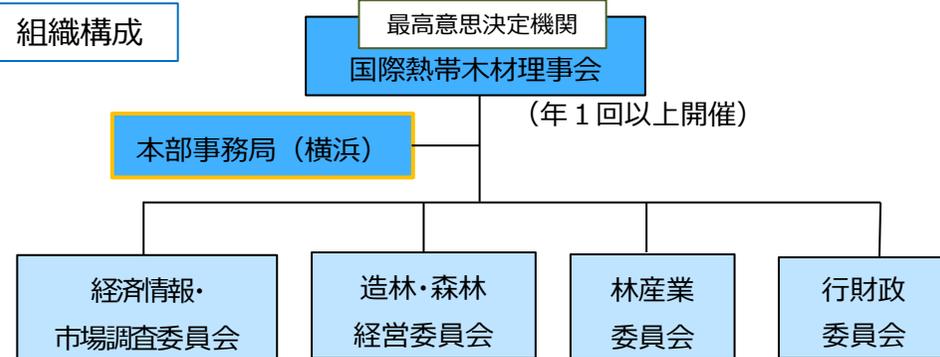
## 2. 事業の内容

- 熱帯木材に依存する我が国は、ITTOのホスト国として、引き続き熱帯林問題に積極的に取り組んでいく姿勢を示すため、本部事務局設置経費を拠出します。

## 〈事業の流れ〉

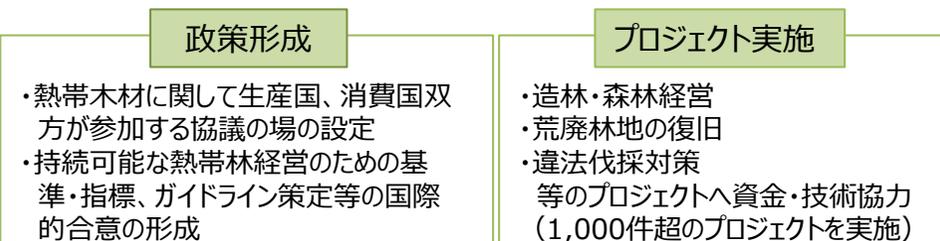


### 組織構成



加盟国：生産国35ヶ国、消費国37ヶ国及び、EU（2017年12月現在）

### 活動・成果



【お問い合わせ先】 (1) 大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)  
(2) 林野庁木材利用課 (03-3502-8063)